

消防防災航空隊55団体における操縦士の養成・確保方法の組み合わせパターン

Pt.	運航体制	養成・確保方法	組織	運航機数	運航団体
1	自主運航	自主養成	消防機関	8	東京消防庁
2		自主養成＋操縦士選考	消防機関	2	大阪市
3		操縦士選考	消防機関	2	8都市（札幌市、仙台市、千葉市、横浜市、川崎市、名古屋市、京都市及び福岡市）
				1	5都市（静岡市、浜松市、岡山市、広島市及び北九州市）
4		自主養成＋操縦士選考	都道府県	1	長野県
5		操縦士選考	都道府県	2	高知県
6	警察併任	都道府県	1	秋田県	
7	自主運航（共同）	操縦士選考	消防機関	2	神戸市
8		神戸市消防局併任（兵庫県のみ）	都道府県	1	兵庫県
9	混合（自主・委託）	自主運航については操縦士選考	都道府県	2	岐阜県
10		民間委託運航（34道県）	都道府県	3	埼玉県
				1	33道県（北海道、青森県、岩手県、宮城県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県及び鹿児島県）